

地域包括ケアに向けた弊社ソリューションと 最新事例のご紹介

2017年2月10日

富士通株式会社

公共・地域営業グループ

ビジネスイノベーションセンター 第二ビジネス部

1. 地域包括ケアに向けた弊社ソリューションの取り組み

- K-MIX+地域医療ネットワーク連携のご紹介
- 多職種連携ソリューションのご紹介
- 介護事業者支援システム「LifeMark-WINCARE」のご紹介
- 診療所向け電子カルテシステム「LifeMark-SX」のご紹介
- LifeMark-コンシェルジュ V1 のご紹介

2. 海外事例のご紹介

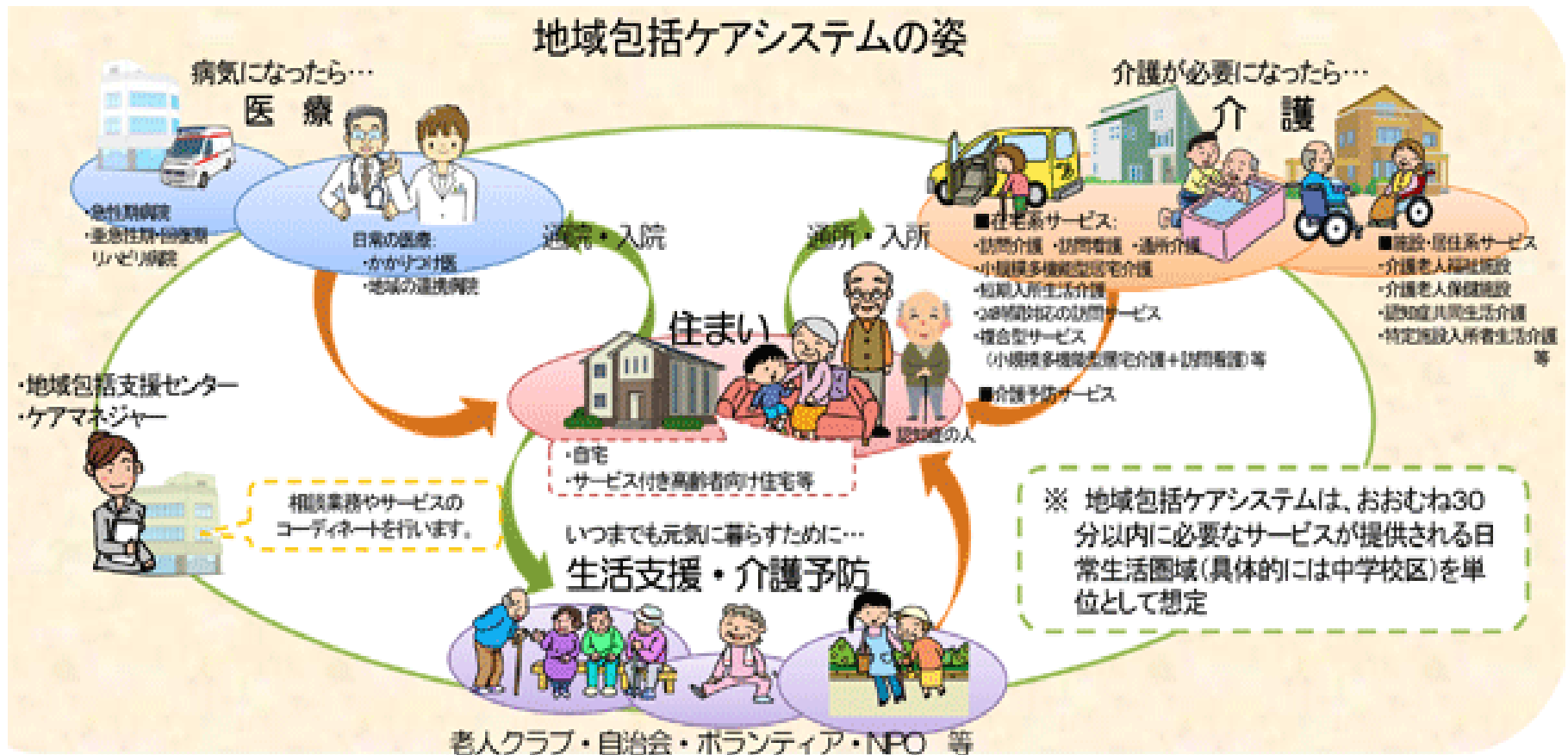
地域包括ケアシステムとは

地域包括ケアシステム

高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域に暮らし続けることができるよう、日常生活圏内において、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に提供する体制・仕組み。

団塊の世代が75歳を迎える2025年を目処に、地域の特性に合わせて自治体（市町村）が構築するよう厚労省が提唱。

地域包括ケアシステムの姿



地域包括ケアを支えるプラットフォームの構築

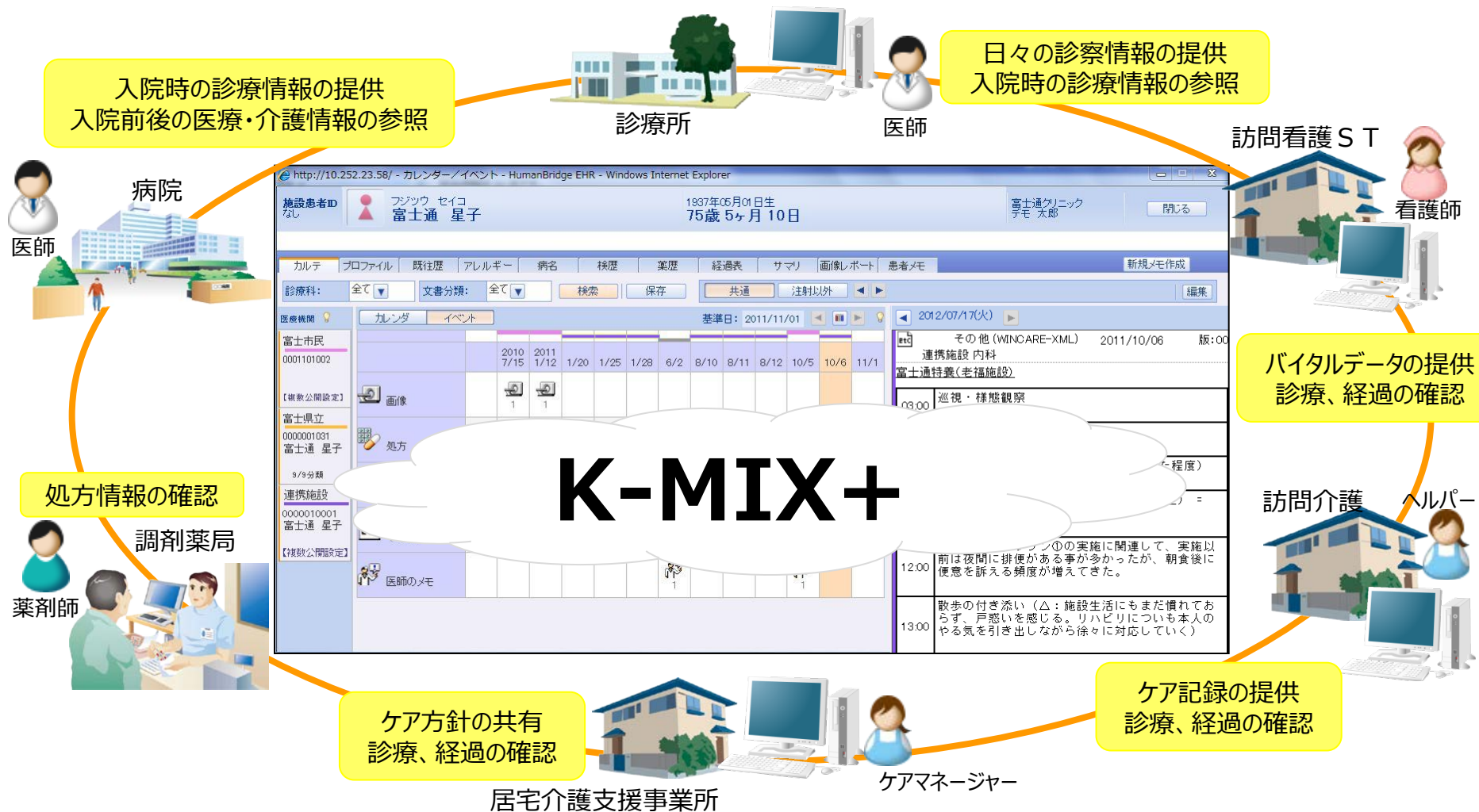


K-MIX+地域医療ネットワーク 連携のご紹介

K-MIX+地域医療ネットワーク連携

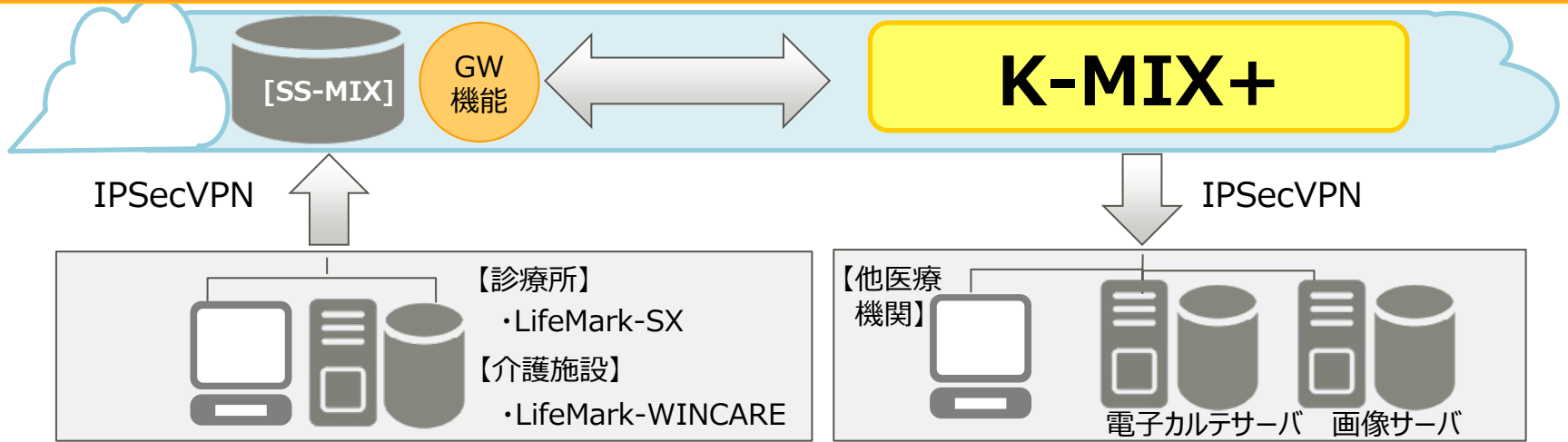
地域医療ネットワークにより円滑な情報の共有と活用を実現

- 法人内病院間や連携医療機関、介護施設を地域医療ネットワーク『K-MIX+』にて接続することにより、診療情報・患者情報・健診情報・介護情報などの連携が可能になります。



K-MIX+地域医療ネットワーク連携

K-MIX+連携を活用した、HOPE LifeMark-SX・WINCARE導入施設と他医療機関連携イメージ

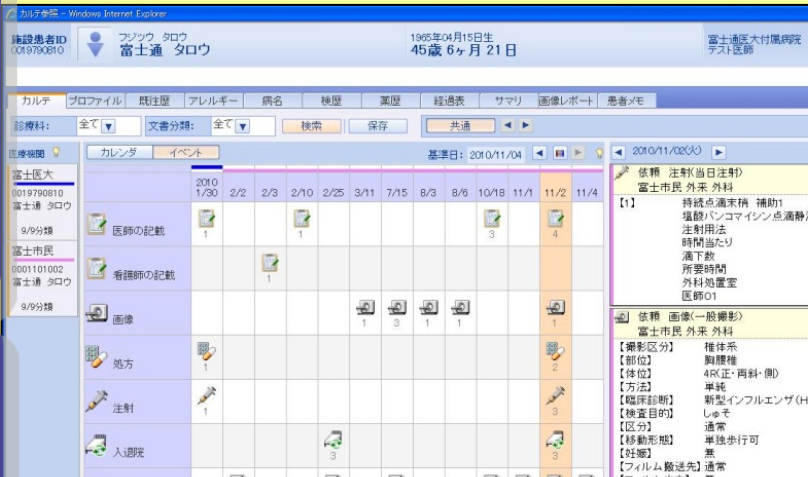


カルテ情報(SX)

- 症状・所見
- 処置・処方
- 検歴
- 病歴
- 書状
- 投薬歴
- サマリ
- 画像

介護情報(WINCARE)

- ケアプラン
- 介護記録
- 訪看記録書
- 看護報告書
- 看護介護サマリ



- 高セキュアメール
- 地域連携パス
- 患者メモ
- 紹介状/返書の作成/参照
- オンライン予約取得(再診/検査)

「相互に」「リアルタイムに」情報連携！

多職種連携ソリューションのご紹介

「地域包括ケアSNS」とは

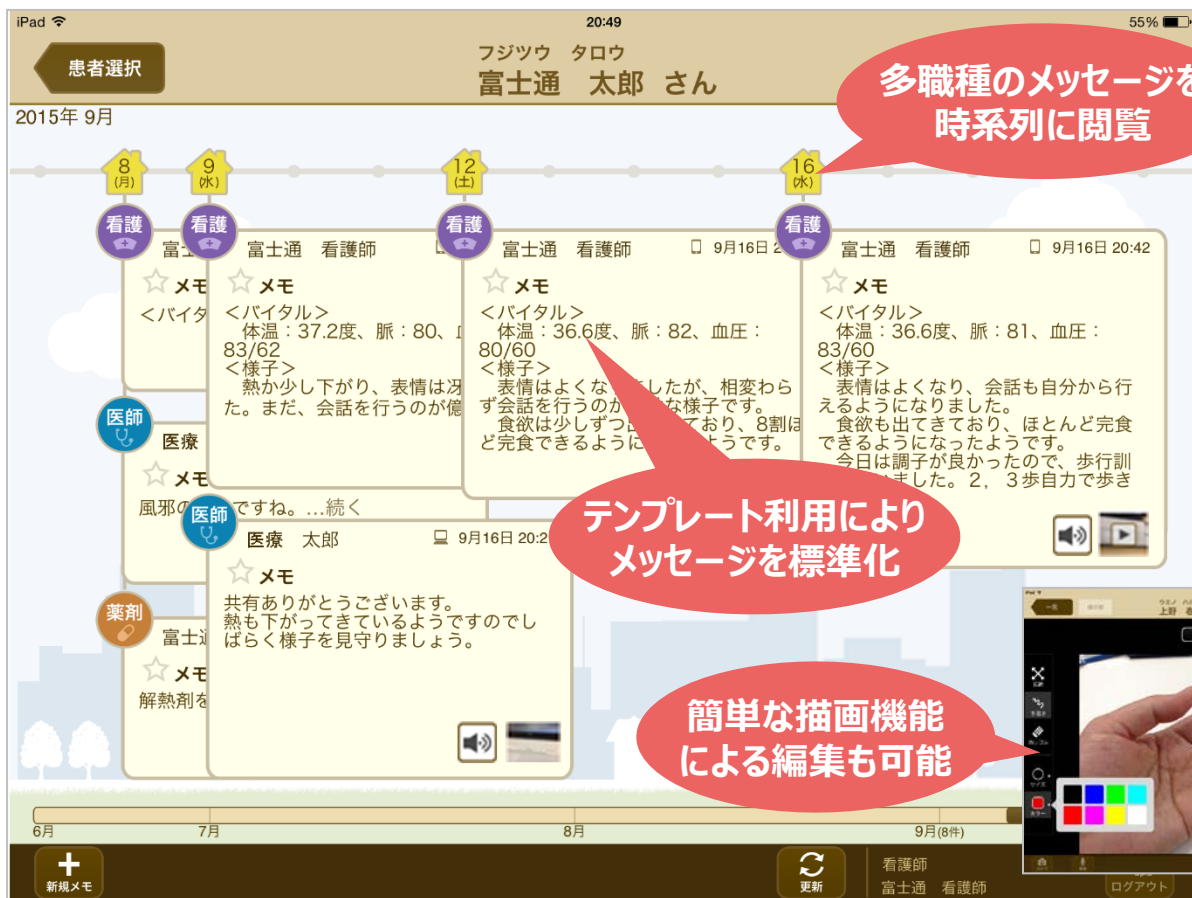
専門性の異なる様々な職種が参加する在宅医療・介護の現場において、患者様により質の高い医療・介護サービスを提供するために、多職種間のスムーズな情報連携は必要不可欠です。「地域包括ケアSNS」は在宅医療・介護従事者のコミュニケーションをサポートします。



患者中心の情報共有 ～タイムライン、画像、動画添付機能～

タイムライン上で**時系列の関連を確認**しながらメッセージの閲覧が可能。

テンプレートを使用した**メッセージの標準化**、写真・動画など客観的なデータ添付することで、**よりの確に情報を伝達**。



「タイムライン」画面 (iPad版)



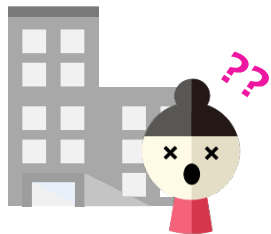
「タイムライン」画面 (iPhone版)

介護事業者支援システム 「LifeMark-WINCARE」のご紹介

Before



緊急時など、
訪問先で記録が
確認できない



法人で複数サービスを
抱えているけど
情報共有できない



After



WINCAREで
働き方変革へ！



いつでも・どこでも
記録確認・作成

タブレット
活用



記録データ共有で
サービス質UP

蓄積データ
共有



いつでも・どこでも
記録確認・作成

タブレット
活用



記録データ共有で
サービス質UP

蓄積データ
共有



訪問 ／ 居宅

訪問看護

訪問介護

訪問リハビリ

定期巡回・随時対応型

居宅介護支援

通所

通所介護

通所リハビリ

施設 ／ 居住

介護保険施設（特養／老健／療養）

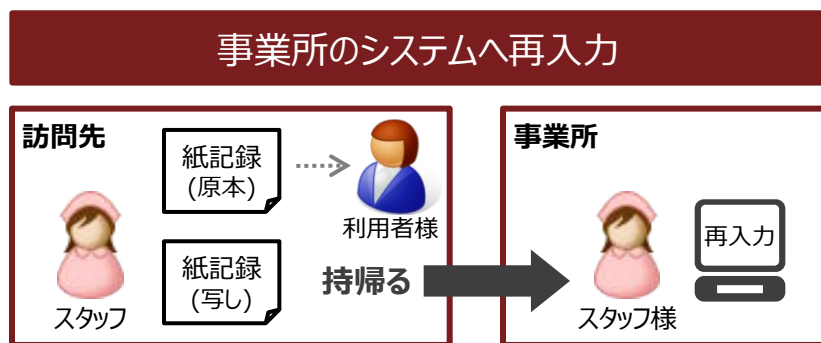
特定施設入居者生活介護

グループホーム

サービス付き高齢者向け住宅

訪問系タブレットでいつでも記録確認・作成が可能

Before



After



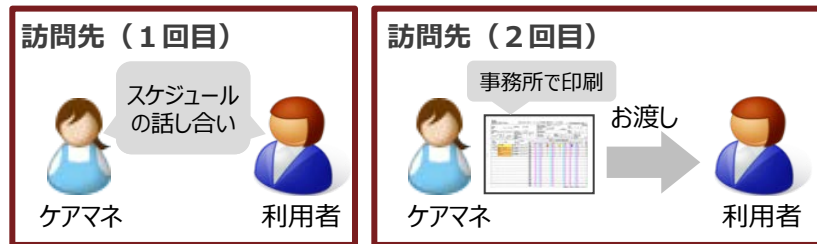
過去記録 一覧確認

褥瘡などの 写真・動画

居宅支援タブレットでいつでも提供票作成が可能

Before

スケジュール渡しのためだけに訪問・・・



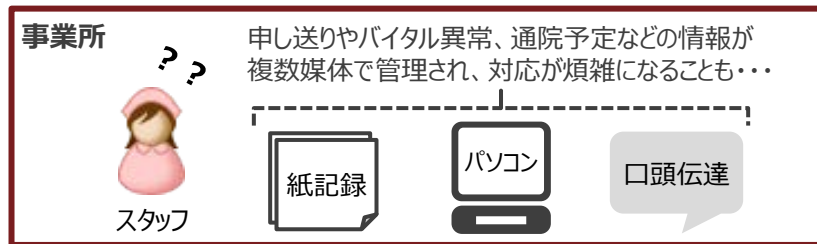
After

1回の訪問でスケジュール渡しまで！



Before

利用者の現状把握が煩雑



申し送り、
バイタル異常者
1画面で確認

After

抜け漏れのない介護サービスの提供



いつでも・どこでも
記録確認・作成

タブレット
活用



記録データ共有で
サービス質UP

蓄積データ
共有



法人内の複数サービスで登録した記録を一覧で確認

時系列で
記録確認

かんたん検索 エキスパート検索


キーワード 全て含む いずれかを含む

期間 クアパシ期間 時間帯 0:00 ~ 24:00 任意の期間 2016/1/1 ~ 終日 夜間

分類 実施内容 相談情報 利用履歴 担当所見 申し送り ケアマネ がいゆ/行為 ファイル

機関 富士通施設 富士通小規模 富士通通リハ 富士通入居 富士通入浴 富士通訪問リハ 富士通訪問看護

検索 (F8)

日付	時刻	分類	内容	機関	担当
2016/01/06	09:00	実施内容	バイタルサイン 症状の観察 清潔ケア（清拭、洗髪など） 与薬（服薬管理） 褥創の手当て	富士通訪問看護	スタッフA（看）
		担当所見	利用者状態：手足の強いしびれは落ち着いた。今後も要観察。 褥瘡についても、現状は特に問題はなし。 昨夜より微熱のため、風薬を服用。頸脈が見られました。	富士通訪問看護	スタッフA（看）
		がいゆ/行為	体温 = 37.7℃、脈拍 = 67回、血圧（上） = 145 mmHg、血圧（下） = 103 mmHg、呼吸 = 17回、SpO2 = 99%、不整脈 = なし、睡眠 = 普通、食欲 = なし。	富士通訪問看護	スタッフA（看）
2016/01/05		実施内容	バイタルサイン 症状の観察 清潔ケア（清拭、洗髪など） 与薬（服薬管理） 褥創の手当て	富士通訪問看護	スタッフA（看）
		担当所見	利用者状態：手足の強いしびれを訴えることがあったため、富士通病院でのMRI検査を行った。結果、陰性だった。 褥瘡については、症状は落ち着いている	富士通訪問看護	スタッフA（看）
		がいゆ/行為	体温 = 36.5℃、脈拍 = 68回、血圧（上） = 138 mmHg、血圧（下） = 101 mmHg、呼吸 = 17回、SpO2 = 97%、不整脈 = なし、睡眠 = 浅い、食欲 = あり。	富士通訪問看護	スタッフA（看）
2016/01/04		ファイル		富士通訪問看護	スタッフA（看）
		実施内容	バイタルサイン 症状の観察 清潔ケア（清拭、洗髪など）	富士通訪問看護	スタッフA（看）

コメント 自由に動きたいという希望はあるが、腰痛や背部痛が悪化するのではないかと不安が強く、外出できない。
痛み止めは使用しており、痛みの理由が原疾患なのか、姿勢が適切ではないことからくる痛みなのか、あるいは不安からくるものかわからない。痛みの原因を知り、それに対する対策や自分で行える予防策などを教えてほしい。
また、実践に際しては力を貸してほしい。

環境設定 プロファイル 連携履歴 取消 (F9) 印刷 (F10) 更新 (F11) 終了 (F12)

法人内スタッフでスムーズな申し送り

富士通デイ 2016年10月3日(月) 9:01 介護スタッフA 更新 編集

申し送り ? 9:01 更新

日時	担当者	内容
富士通 太郎		
平成28年09月30日(金) 12:00	介護スタッフA	昼食 お腹を壊していたため、冷たい飲み物を控えました。
施設 朋子		
平成28年09月30日(金) 10:30	介護スタッフA	入浴 腕の傷が化膿しています。消毒を実施。次回以降の入浴の際...

連絡事項 ?

未完了 完了済み 発信済み 管理者用 メッセージ件数 : 2 未読件数 : 2

完了	未読	重要	発信日	発信者	タイトル
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	平成28年10月03日(月)	看護師B	富士通太郎さ...
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	平成28年10月03日(月)	スタッフA	全体定例会に...

バイタルアラート ?

利用者	バイタル	値	日時	担当	コメント
仙台 孝雄	体温	37.3℃	平成28年10月03日(月) 09:00	-	
富士通 太郎	血压	141mmH	平成28年10月03日		

男女別通所訪問数 ?

サービス内容	男性	女性	合計(件)
通所介護	3	2	5

法人内のスタッフ
で申し送り

診療所向け電子カルテシステム 「LifeMark-SX」のご紹介

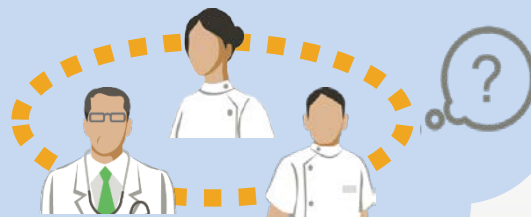
このような悩みを抱えていませんか？

端末が中心の運用



端末がある場所に
毎回戻らないと
情報がわからない

情報が各々の
発生源に滞留



今知りたい情報が把握できない

情報が不足し手書きによる記録

往診先



・過去の診療内容や経過
が分からないので、限られた
情報で判断
・カルテ記入用に手書き
メモなど作成



後で入力



「患者記入→システム入力」
の二度手間



問診票

小さな事務作業が積み重なって
仕事が思うように進まない

「仕事場(電子カルテが使える)」
=「院内」



学会参加など他の
医療機関の交流や
知識を深める時間がほしい

休診日でも気になった時
に自宅でカルテを確認・
修正したい

- + 病院の収益を増やしたい
- + 患者サービスを向上させたい

業務システムと様々なサービスを融合し、新たな価値を創出します。



HOPE LifeMark-SX

電子カルテとつながるサービスを今後も順次拡張し、あらゆる場面で新たな価値を提供していきます。

堅牢なセキュリティで、いつでもリアルタイムにカルテの参照や、症状・経過の入力、オーダの入力が可能

モバイル性を活かした 新たな利用シーンの拡大

- 院内での問診入力、看護師のカルテ参照
- 検査室でのカルテ参照

スマートデバイス



シンプルな操作性

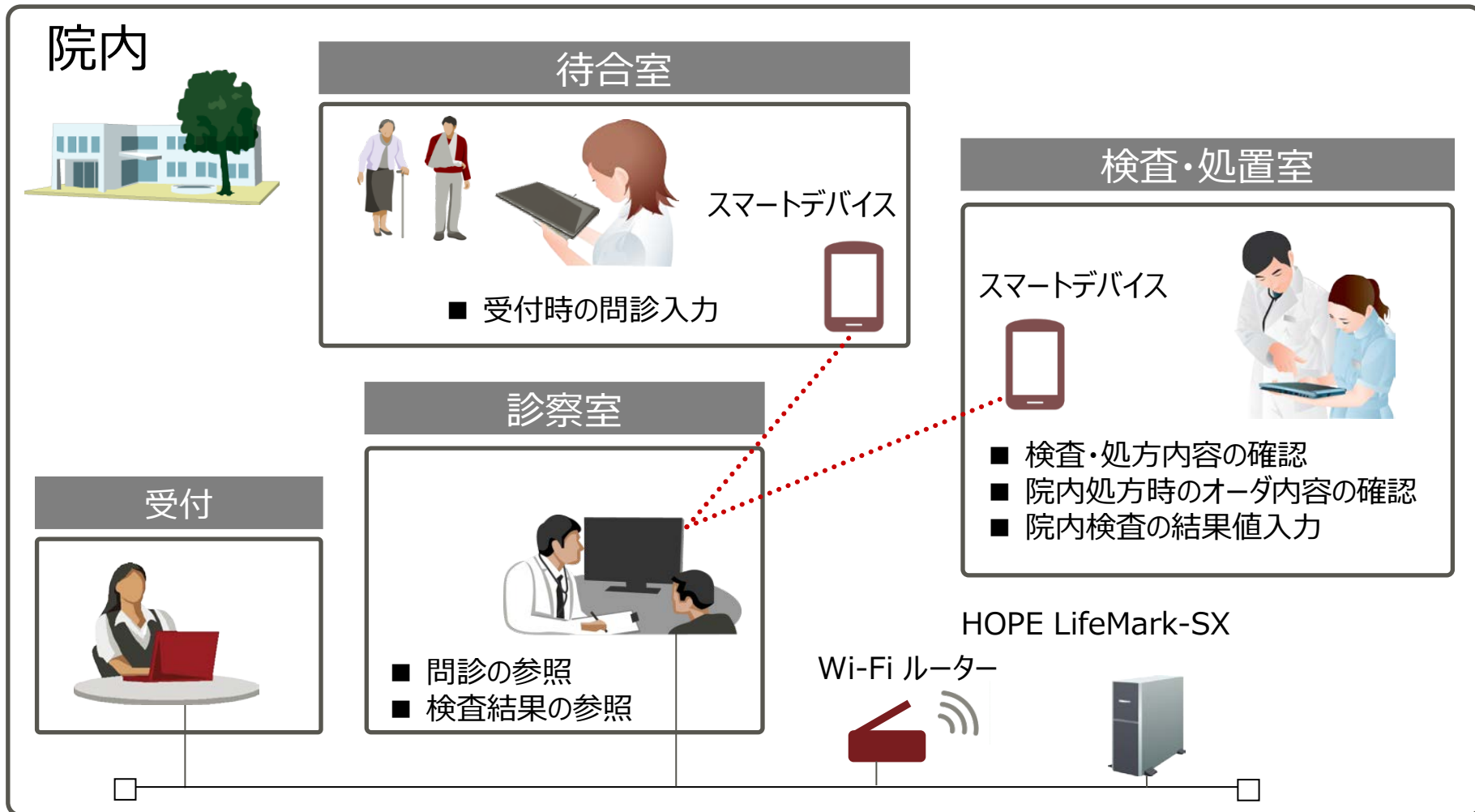
- 1画面1機能の
わかりやすい画面構成
- スワイプ操作でサクサク簡単
画面切り替え

堅牢なセキュリティ

- 端末にキャッシュが残らないの
で紛失時のデータ漏えいの
心配なし

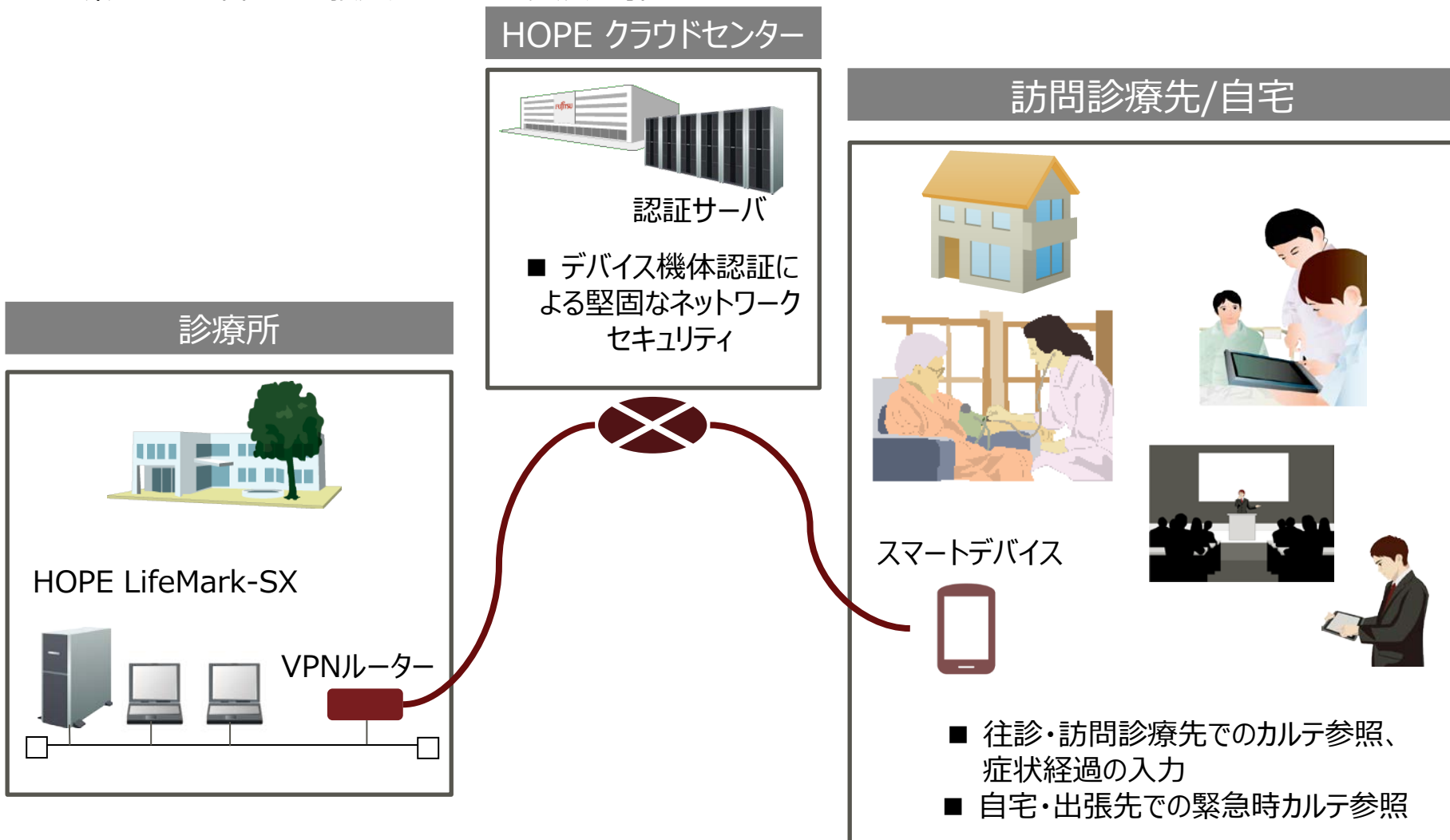
正確な情報をスマートに共有

テンプレートの利用により問診入力が可能です。
検査室、処置室など、どこからでもカルテの参照が可能です。



電子カルテにタイムリーにアクセス

訪問診療時に患者様の自宅でカルテの参照、症状経過入力が可能です。
また、緊急時にも自宅、出張先からカルテの参照が可能です。



■ 患者様がインターネットから簡単に診療予約が可能

- スマートデバイス・PCから気軽に予約
- 診療所・病院など複数施設を一元管理



■ 地域包括ケアSNS 機能強化

セキュアな環境で医療情報連携を強化 ～VPN接続対応～

【1】PC対応

Point!
WEBアプリとして実装

以下の機能は制限されます

- ・ダウンロード
- ・カメラ・ビデオ撮影
- ・録音

【2】ファイル共有

Point!
PC版からPDFをアップロード(退院支援計画書等)

タップ

iPad・iPhoneよりPDF参照

【3】プロフィール参照 (医療情報対応)

Point!
SXから取得したプロフィールを表示

- ・基本情報 (実装済)
- ★アレルギー
- ★処方
- ★病名

既存連携のプロフィール情報参照に加え、病名、処方(直近10件)、アレルギーの情報を参照可能

更新日	2015/09/17 15:35
▼ 基本情報	
患者ID	9999999999
氏名	富士通 花子 (フジツウ ハナコ)
性別	女
生年月日	昭和44年8月1日
年齢	78歳
血液型	A型
住所	144-0035 東京都大田区南蒲田1-2-3
電話番号	03-2455-2111
<ul style="list-style-type: none"> > 病名情報 > 処方情報 > アレルギー情報 	

【4】既読管理

Point!
既読(自動で更新)と了解(ユーザ操作により更新)の2段階で既読情報を管理 (※次頁詳細)

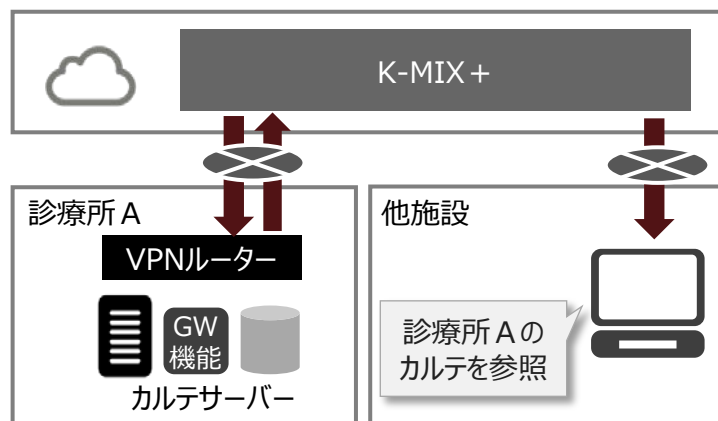
※画面デザインは予告なく変更する可能性があります。

■ 制度改定に対応した情報連携機能を実現

- 院内にVPNルーターを設置しない、低コストなネットワーク構成で、制度改定において算定要件となるK-MIX+との連携を実現
- 旧システムよりさらに情報連携の親和性が向上

《Before》

旧システムのK-MIX+連携



K-MIX+へカルテデータを公開するためにVPNルーターが必須となる。

《After》

LifeMark-SXのK-MIX+連携



GW機能はクラウド上で動作させることでVPNルーターが不要になる。

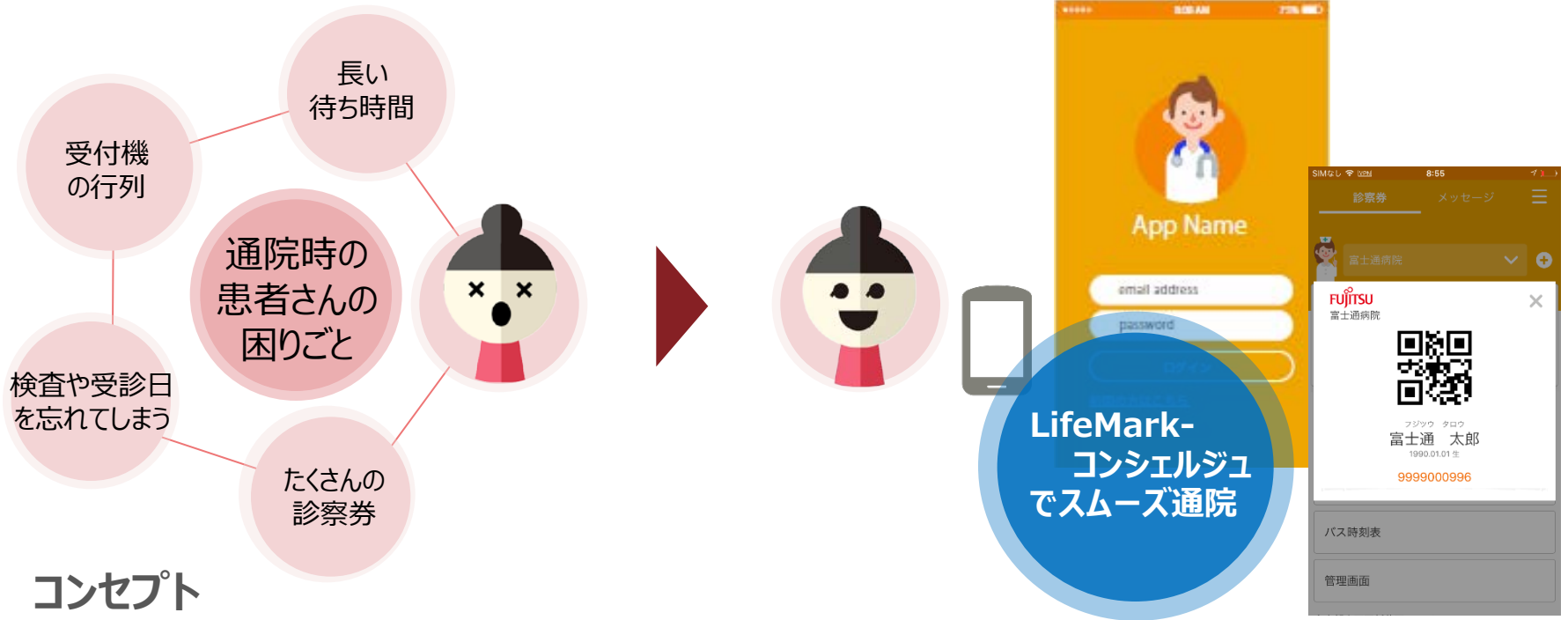
2016年度改定で新設された診療情報提供料の「画像・検査情報提供加算(30点)」の算定要件を本サービスで低価格で実現

患者向けサービス

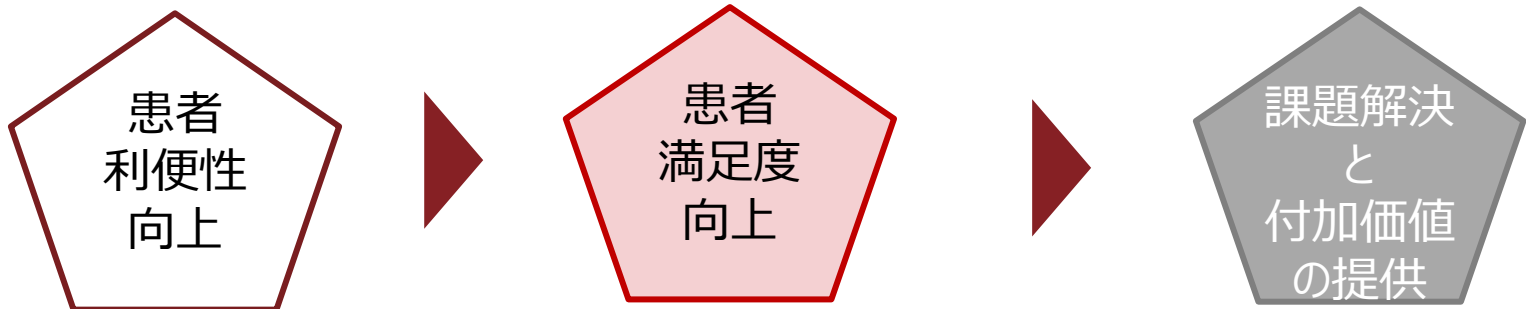
LifeMark-コンシェルジュ V1 のご紹介

LifeMark-コンシェルジュ

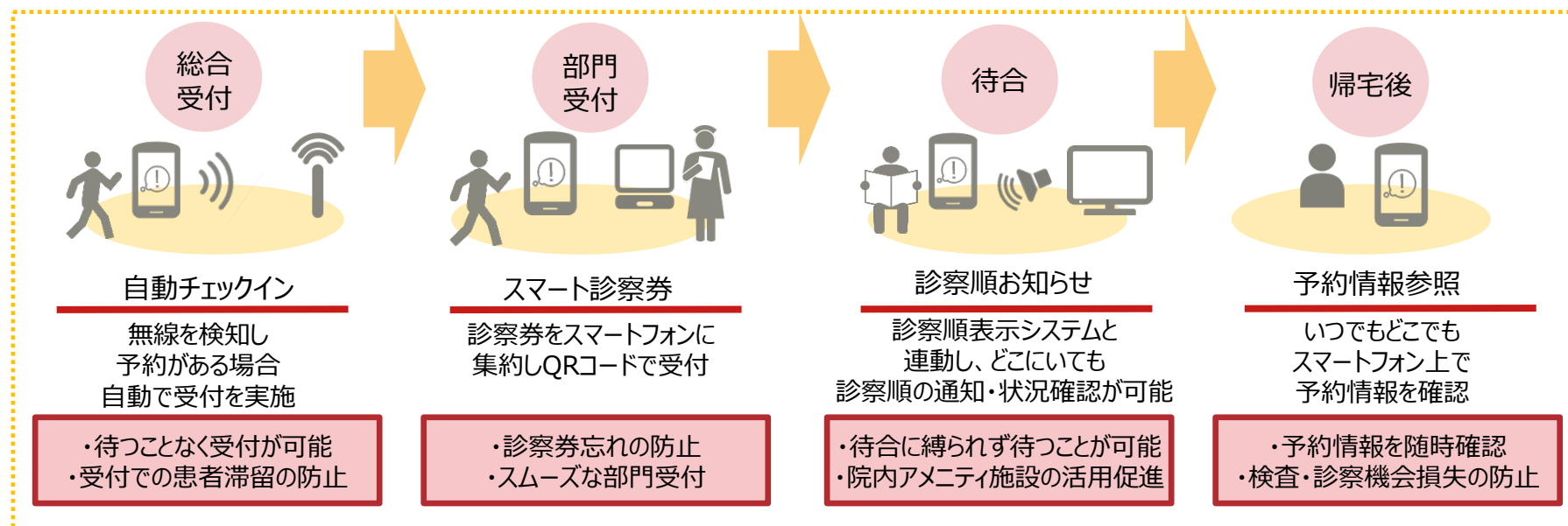
電子カルテと情報連携し、通院に関わる患者さんの利便性を向上させるスマートフォンアプリケーション



コンセプト



院内システムと連携し、通院に関わる患者さんの様々なお困りごとを解決することで、満足度の向上と快適な医療の実現に貢献します。



海外事例のご紹介

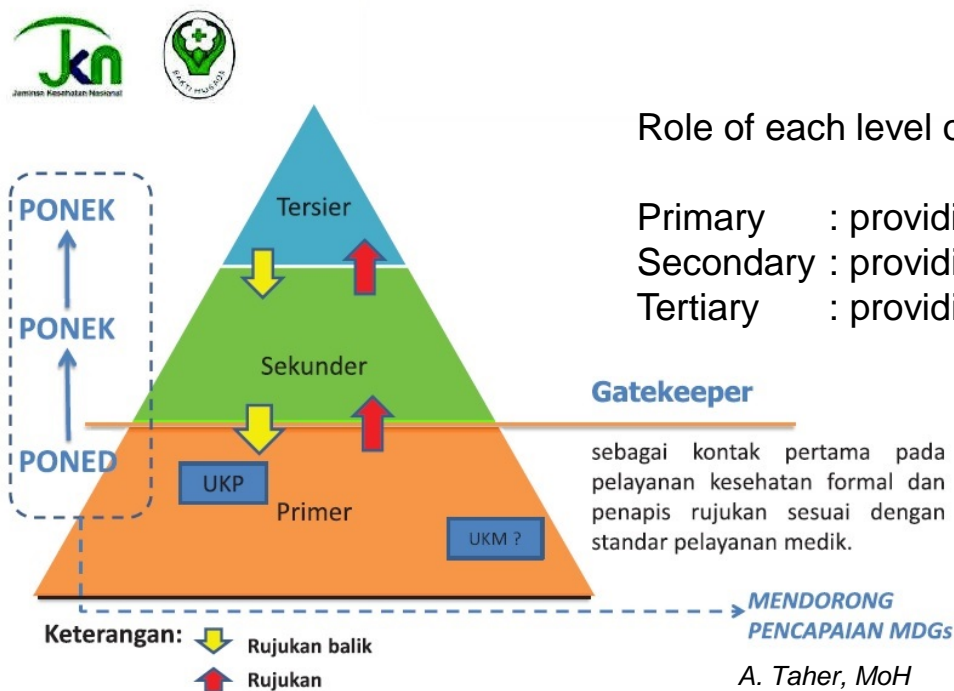


- 日本の経済産業省及び一般社団法人Medical Excellence JAPANとともに2015年度医療技術・サービス拠点化促進事業の代表団体として富士通は活動しております(コンソーシアム企業：リコー、アライドテレシス)。国立チプト病院(RSCM)内に「地域医療連携ネットワーク推進センター」を設立して頂き、システム稼働の立ち上げを支援しております。本推進センターは、今後のインドネシアにおける連携システム展開の基盤として期待されております。
- 今回のプロジェクトでは、国立チプト病院の診療記録をジャカルタ州立タラカン病院に参照していただき、病病連携強化に役立てていただくことから開始いたします。
- 日本における地域医療ネットワークの専門家である信州大学医学部附属病院の浜野教授にアドバイザーとしてご参画頂き、地域での運用ルールの策定や医療機関同士の信頼関係構築など、センターの準備から運用開始に関わるさまざまな協議事項についても御指導を頂く形を取っております。
- 本プロジェクトのゴール：
 - 1)ジャカルタ市内に地域医療連携ネットワーク推進センターを設立
 - 2)チプト病院とタラカン病院との実証を通して、医療機関同士をつなぐネットワークシステムの利便性を体感して頂く
 - 3)評価と改善プランを元に、今回の事業をモデルケースとして全国に広めていくための課題を抽出
 - 4)医療サービスに関わる関係者との協調体制を構築し、より良いネットワーク活用を実現

医療機関の機能分担と連携システム

いわゆる国民皆保険制度が2014年から開始され、B P J Sによって管理、運営されています。この制度では、初期医療（Primary healthcare）を行う一次医療施設と紹介を受けて二次医療を行う施設とに機能分担が図られています。

医療が必要な患者への医療提供を確保し、医療の質と効率的な医療サービスを確立するため、この階層化された連携システムは新しい医療提供体制の非常に重要な役割を担っています。



必要な考慮

国民皆保険制度の初期段階において、いくつかの課題が浮き彫りになってきました。

□ 医療機関:

許容数以上の多数の患者さんが受診を希望。初期症状の患者が正しい紹介ルートを経ずに中核病院に集まってしまい、中核病院に過度な負担と診療コストの増加が発生。

□ 保健省とBPJS:

医療サービスと医療費のバランスを保つ必要性に迫られている。

□ 患者:

必要時にもっと簡単に医療サービスを受診できる仕組みを求めている。

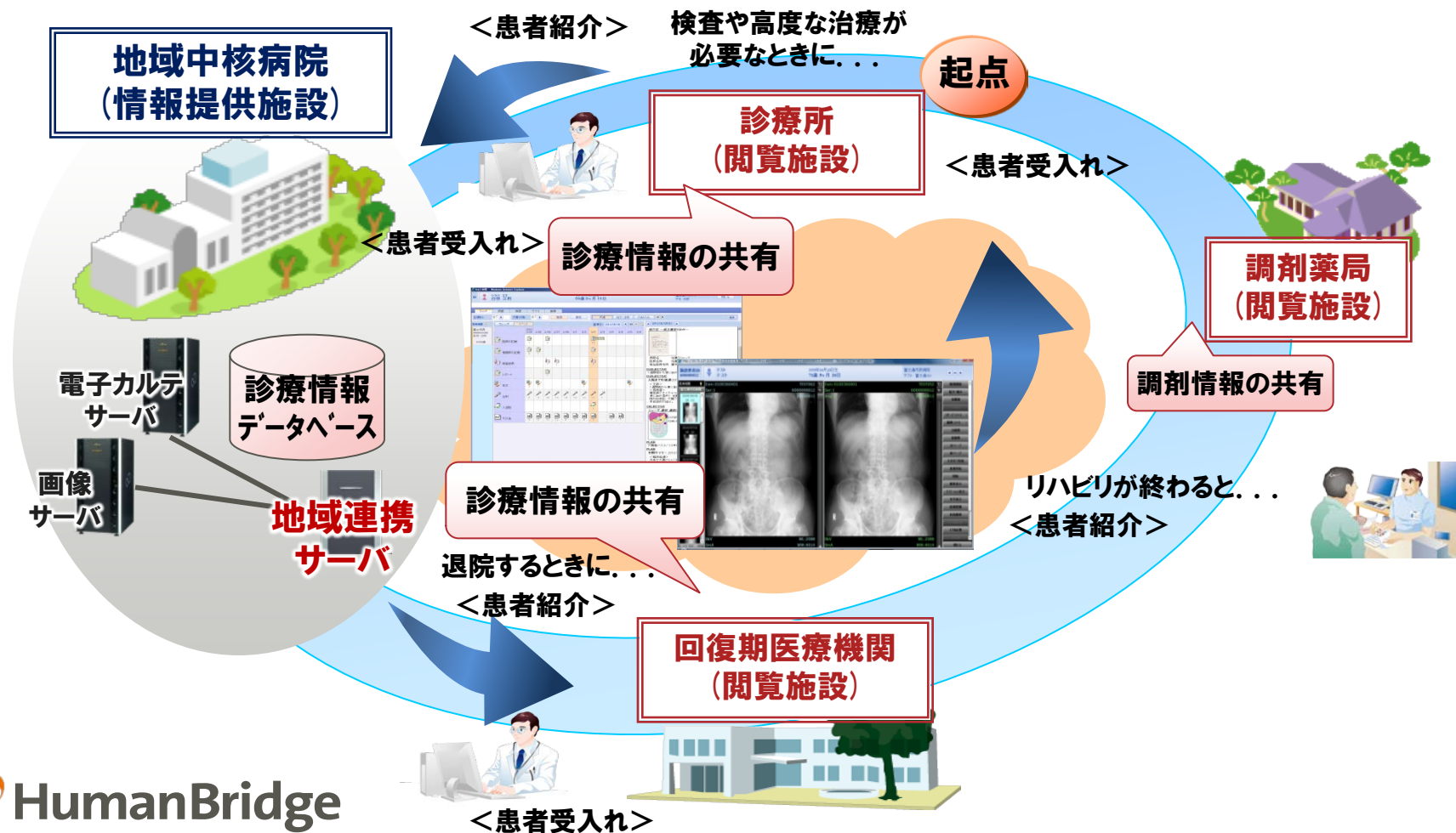
現在、インドネシアが直面している課題は日本でも抱えている問題でもある。

日本では、ICTネットワークを活用することでいくつかの課題を解決できている。

とりわけ、医療機関へのアクセス、医療資源の有効活用と地域での医療サービスの質の向上について改善できつつある。

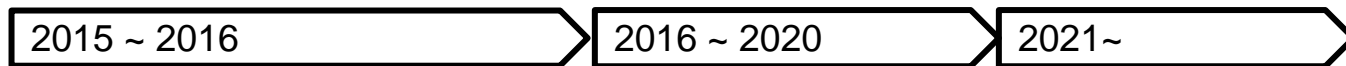
地域医療ネットワークのコンセプト

■ 地域の医療機関同士をつなぐネットワークを構築することにより、**地域住民の診療情報（カルテ・画像情報など）と医療資源（人的資源、医療機器）のシームレスな連携が実現し、地域完結型の医療サービスが可能となります。**従来は、診療所の医師と、中核病院や高度先進医療機関の医師同士が**人的ネットワークを頼りに、患者の紹介や受入れを行なってきましたが、**今後は**ITネットワークが地域医療の連携を支えていく方向に向かうと考えられます。**



2015年度のプロジェクト範囲 (フェーズ1)

今年度のフェーズ1では、国立チプト病院とジャカルタ州立タラカン病院での医療情報連携を実現致します。この連携ネットワークは、地域の医療提供体制をサポートするために、N対Nでの医療情報連携に広がっていくことが期待されています。



電子カルテ化

- Digitization of medical information by
 - Admin
 - CPOE
 - LIS
 - PACS
 - EMR
- Referral

1対Nでの連携開始

- Sharing medical info from core hospital
- e-Referral
- Telemedicine (Simple)

N対Nでの医療情報連携ネットワーク

- Mutually sharing among many hospitals
- Mutually telemedicine
- Connecting to related stakeholders (MoH /BPJS)
- Expand RSCM HIE model nationwide

Scope of Phase 1, FY2015

- RSCM**
- Dep. ICT implementation
 - CPOE implementation
 - Connect to BPJS
 - Referral(Paper)
 - Full EMR imp

- Sharing medical info using ICT
- e-Referral applying
- Telemedicine support
- Build Center for Management
- Secure network establishment
- Full EMR imp

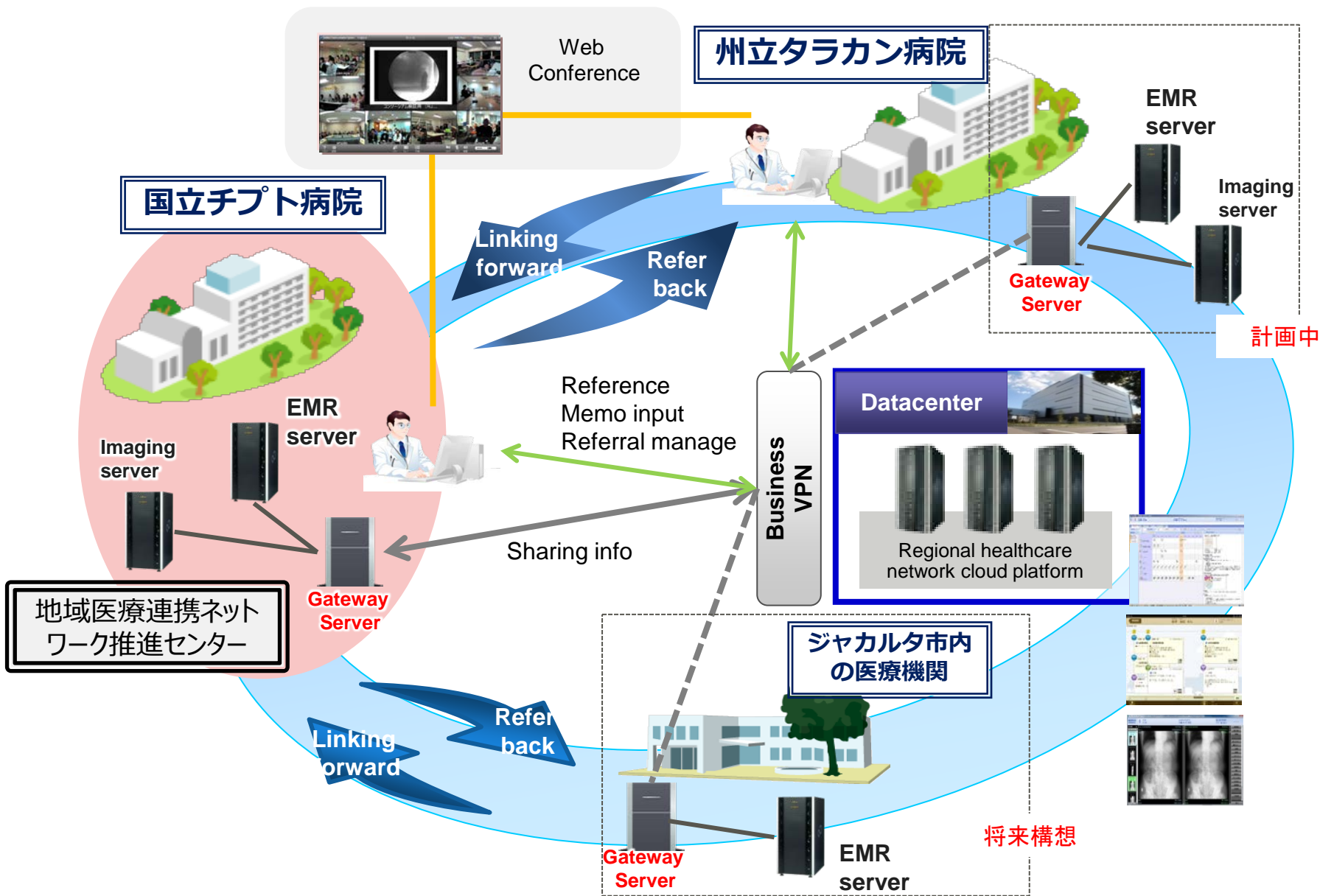
- Management of RSCM Center for regional health
 - Improvement/ Maintenance of operation/ICT
- Expanding RSCM Center
 - Increasing participants (hospitals and Patients)
 - In-hospital ICT enhancement for increasing shared info.

- MoH**
- Strengthen HIS
- Jakarta Health Office**

- Strengthen network environment
- Socializing referral business flow
- Evaluate RSCM HIE model

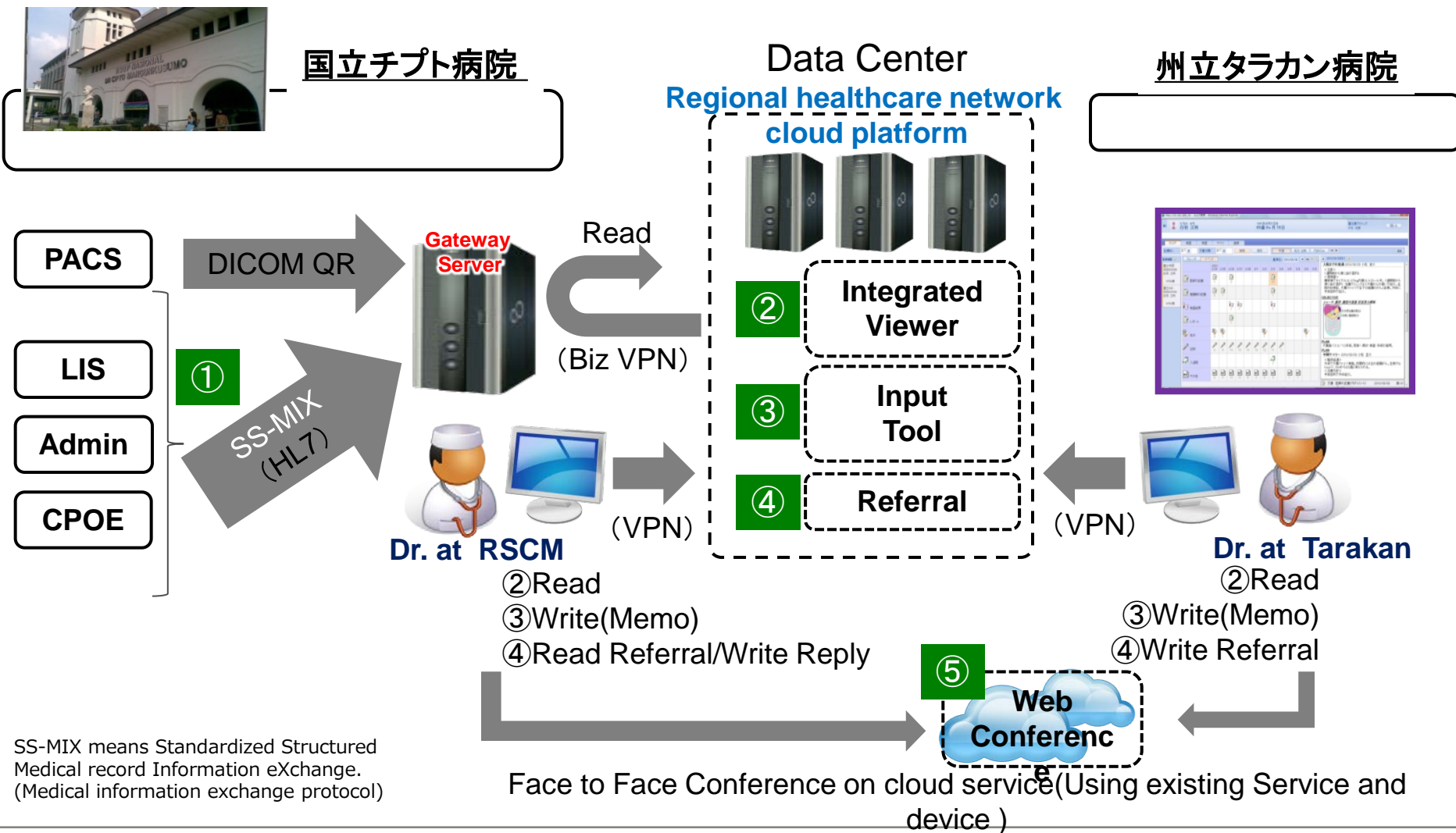
- Institute healthcare information exchange protocol
- Expand RSCM Center model to other regional
- Strengthen network infrastructure for telemedicine
- Expand In-hospital ICT to all medical institutes

今回構築したネットワークの概要



地域医療連携ネットワークの活用イメージ

国立チプト病院に保存されている医療情報を共有するためには、日本の厚生労働省が推奨するSS-MIX標準化ストレージを採用致します(①②)。ネットワークで統合されたシステムでは、既に医療情報の参照が可能となっております(③④)。また、Webカメラを併用することで遠隔医療にも活用していただけると期待しております(④)。



SS-MIX means Standardized Structured Medical record Information eXchange. (Medical information exchange protocol)

国土全体に広がる医療ネットワーク

Fujitsu
Global Delivery
(Tokyo)

Fujitsu
Healthcare solution
(Tokyo)

**Fujitsu Indonesia
Healthcare Team**

Fujitsu
Asian HQ
(Singapore)

Fujitsu
Global HQ
(Tokyo)

Local Support

Regional
Government

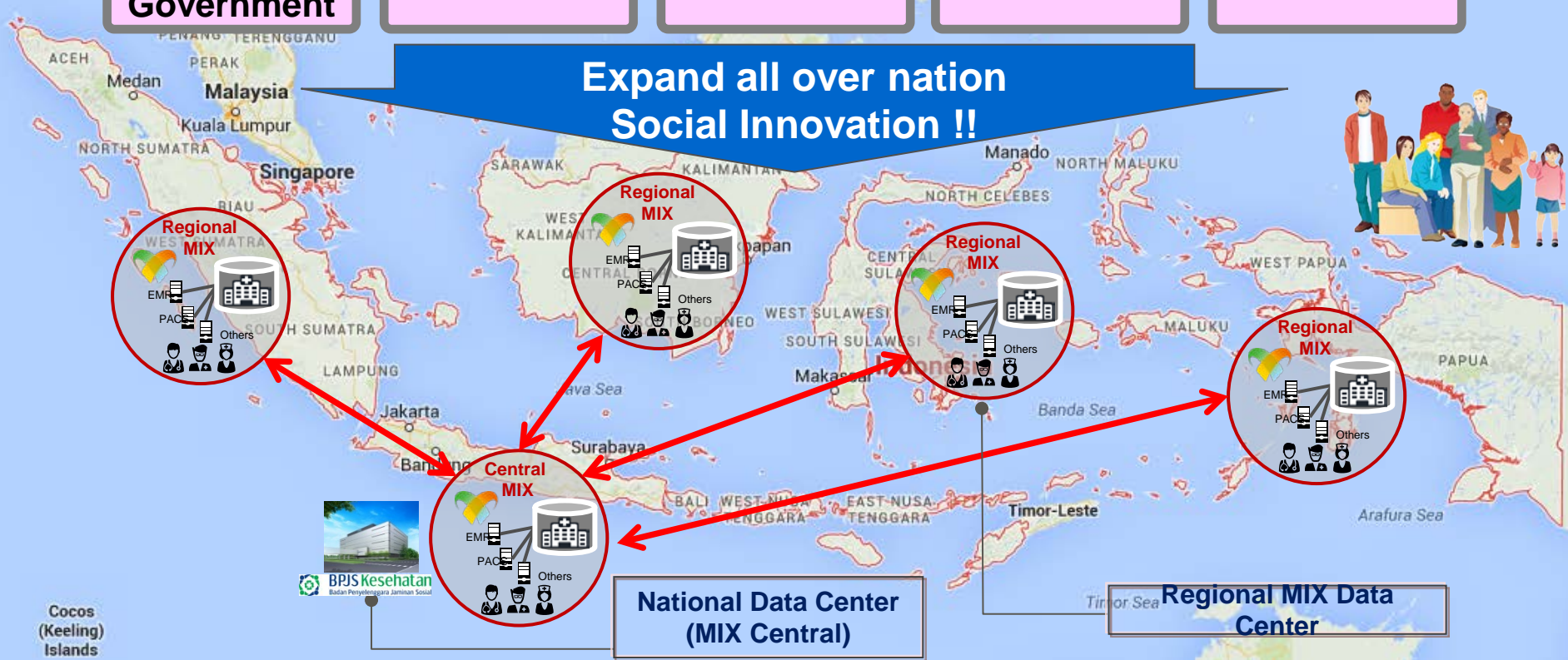
RSPD


RSUD

BPJS

MOH

Expand all over nation
Social Innovation !!





FUJITSU

shaping tomorrow with you